

平成28年8月22日

保土ヶ谷区長

菅井 忠彦 様

第21期保土ヶ谷区民会議

代表委員 小林 由美子



平成28年度「地域のつどい」で出された
行政に対する検討依頼事項の提出について

平素は保土ヶ谷区民会議の活動推進に際しまして、多岐にわたりご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年度の「地域のつどい」は、6月13日から7月2日までの間に区内6か所で開催して、延べ715名の参加がありました。

各会場には区長はじめ多くの幹部職員の出席を賜り、区民の生の声を聞いていただきましたことに感謝しております。

さて、6か所の話し合いで出された意見の中から、行政への提言・要望をまとめ、検討依頼事項としてここに提出いたしますので、ご検討のうえ善処いただきますようお願い申し上げます。

平成28年度「地域のつどい」提言・要望事項

1. 道路 4件
2. 交通 3件
3. 自転車通行マナー 2件
4. 歩道橋・横断歩道 2件
5. 防災 1件
6. 環境・ゴミ 2件
7. 高齢者 1件
8. 子育て支援 1件
9. 自治会への加入 1件
10. 地域包括支援センター 2件
11. 防犯 1件
12. 私有地防犯灯 1件
13. 防犯カメラ設置 1件
14. 個人情報開示 1件
15. 民生委員 1件
16. 環境事業推進助成金 1件
17. その他の問題 2件

合計 27件

【道路】

- 1-1 地域住民が親しめる歩道の命名や道路看板の設置を提案したい。例えば、星川駅から区役所にかけて「あいさつの小道（小径）」と命名するなど考えてみてはどうか。
(6月16日 イコットハウス)
- 1-2 新桜ヶ丘1～2丁目付近で、道路から多くの桜の木が伐採された。その切り株が中途半端な高さで残っているが、その後処理はどうするのか教えてほしい。また、そのあとに新しい苗木を植えるのかも教えてほしい。
(6月22日 ほどがや防犯センター)
- 1-3 保土ヶ谷駅東口の歩道橋にはバス乗り場に向かう表示はあるが、駅に向かう案内表示がない。保土ヶ谷駅はどちらの方向かと、一日に2回も聞かれた人がいたり、近くの菓子店にも尋ねる人がいる。保土ヶ谷駅と反対側の駅前ハイツ側が駅だと思って歩いて来る人もいる。保土ヶ谷駅東口歩道橋に、「駅」「バスターミナル」それぞれの方
向案内表示を付けてほしい。
(6月21日 イコットハウス)
- 1-4 道路標識は高いところにあったり、小さくて見えにくいところにあるようだ。宿場町である保土ヶ谷の町を安全で、きれいにすることも含めて、道路上に「自転車止まれ」「ポイ捨て禁止」などの表示を貼って見たらどうか。
(6月21日 イコットハウス)

【交通】

- 2-1 国道1号線・権太坂上の下り道路交通について。境木中学校行きバスが右折する時に渋滞し直進できない。交差点の仕組みをバスと一般車に区別するか、道幅を広げるなど、何とかしてほしい。
(6月21日 イコットハウス)
- 2-2 国道1号線からグリーンヒルズ入口（サークルKの所）は、戸塚方面から来た多くの車がUターンしてドン・キホーテへ行く車が多く、事故が起きる可能性が大である。事故防止のためにサークルKのところに信号機を設置してもらいたい。
(6月21日 イコットハウス)
- 2-3 新井町の町中は制限速度 40 キロだが、歩道が確保できないような狭い道路は 30 キロ制限にするなど、スピードを落とすような標識に変えていただきたい。町内の「ゆりが丘」は 30 キロ制限になっている。
(6月13日 西谷地区センター)

【自転車通行マナー】

- 3-1 自転車に対する規則が甘い。購入してすぐに乗れる。子どもはルールを守ることを教わらないうちに自転車に乗っている。また、保育園では幼児の送迎は電動自転車の利用が多く、母親が前と後ろに幼児を乗せてスピードを出して走っている。自転車通行に関してルール指導、自転車点検などを行政・警察からの注意喚起・指導をしてほしい。
(6月21日 イコットハウス、7月2日 区役所301会議室)
- 3-2 区内の歩道で人と自転車との通行で、危険な場面を多く見かける。たとえば、狭い水道道を若い母親や高齢者が、歩道を自転車で走っている。さらに、保土ヶ谷駅東口の商店街は道幅が狭いうえ、人通りが多いので自転車の通行は無理と思われる。最善策は自転車は押して歩く（自転車に乗っての通行は不可）しかないかと思う。同様な道路事情の区域を定めて検討していただきたい。
道路交通法では、自転車通行に関して「70歳以上、小学生以下、車道が混雑して

いるときは歩道を走っても構わない」と定められているが、知らない人もいるようである。周知のための啓発チラシなどを作ってほしい。

(6月21日 イコットハウス)

【歩道橋・横断歩道】

4-1 横浜国大西門と常盤台ケアプラザの間の道路に横断歩道を設置していただきたい。国大生とケアプラザ利用者(高齢者)がここを多数横断している。車の通行が多く危険な状態である。
(7月2日 区役所301会議室)

4-2 国道16号線の川島交差点の歩道橋の下には横断歩道がない。高齢になると歩道橋の階段の上り下りが大変なので、歩道橋を使わず16号線を横切る高齢者をよく見受ける。歩道橋がある所には横断歩道は設置できないというが、近くにバス停もあり歩行者、高齢者の事故防止のために横断歩道を設置していただきたい。西谷駅周辺の歩道橋も同様である。今ある歩道橋にエレベーターをつけるとか考えられないか。
(6月13日 西谷地区センター、6月23日 坂本小学校体育館)

【防災】

5-1 防災マップにも記載されている「『土砂災害警戒情報』の発表とともに避難勧告を発令する対象区域」が、区内13か所に設定された。近くの該当箇所を訪ねたらいろいろ問題がある。①避難勧告の発令される地域にそのことを周知しているか ②危険なガケの補修などには大きな資金が必要だが、私有地のため手が打てない。私有地といっても、人命に関わる危険な所には補助制度などがあると聞いている。その周知とともに具体的相談窓口を教えてください。
(6月13日 西谷地区センター)

【環境・ゴミ】

6-1 ゴミ回収の件。生ゴミの回収が「月・水・金」から「月・金」に変更された。以前に要望して夏の期間だけ「月・水・金」に変更されたことがある。財政上の問題なら他の「缶・ビン」などの回収を減らしても、生ゴミ回収を期間限定で増やしてほしい。
(6月16日 イコットハウス)

6-2 「カラスいけいけネット」を設置したところ、被害が無くなり効果は出た。だがこのゴミボックスは1か所3万円以上かかり、町内に50か所以上あるので一度には設置できない。
新井町では収集場所の利用者が出し合って購入している。上菅田町芙蓉ヶ丘では収集場所の利用者の自治会員は500円、自治会員以外は1500円を出してもらい、残りを自治会が負担した。行政からの補助を検討していただきたい。
(6月13日 西谷地区センター)

【高齢者】

7-1 民生委員だが、若いうちから認知症の理解と予防ができないかと考えている。「認知症を知ろう」「頑張りすぎない介護のすすめ」など、区役所には参考になる立派な資料(パンフレット)があるが、配布対象を若年層にも下げることが検討してほしい。
(6月21日 イコットハウス)

【子育て支援】

- 8-1 赤ちゃんを持つお母さんのために、電車でもバスでも自由に乗り降りできる、敬老パスのような「赤ちゃんパス」を作ってはどうか。もっと赤ちゃん連れで外出できるようにするために必要と思う。子育て援助、地域を活性化するためにぜひ作ってほしい。
(6月23日 坂本小学校体育館)

【自治会への加入】

- 9-1 自治会に加入する住民の割合は減る一方である。保土ヶ谷区の自治会加入率は75%とのこと。自治会としては全世帯加入に工夫を凝らして努力しているが、行政は住民票の登録と一緒に自治会加入登録もできるようにするなど、もっと後押し願いたい。その際に、自治会に加入しないと行政の施策が伝わらないことがあることを伝えてほしい。
(6月13日 西谷地区センター、6月21日 イコットハウス、7月2日 区役所301会議室)

【地域包括支援センター】

- 10-1 上星川地区を常盤台地域包括支援センター(ケアプラザ)の管轄から、川島地域包括支援センター(ケアプラザ)に変更してほしい。単なるサービスの利用ならどこのケアプラザも利用できる。しかし併設されている地域包括支援センターは、利用者の地域を行政で決めている。高齢者の相談などは定められた地域包括支援センターが行うので、管轄のケアプラザに行くしかない。常盤台ケアプラザは山の上であり、高齢者は大変で行きたくないと言っている。川島ケアプラザに相談に行くと、管轄違いと言われがっかりして帰ってきている。
(6月13日 西谷地区センター)
- 10-2 地域ケアプラザは中学校区に一つということだが、上菅田ケアプラザは千丸台の方の緑区と旭区の区境近くにある。住民としてはバスを2回乗り換えないと行けない。上菅田の真ん中である上菅田中学校付近に、新しく設置してほしいと切に要望する。
(6月13日 西谷地区センター)

【防犯】

- 11-1 行政、警察への要望である。2~3か月前、交番から警察官が数年ぶりに家庭訪問しに来た。安心・安全のまちづくりという事を考えると、もう少し家庭訪問の頻度を高めてほしい。
(6月23日 坂本小学校体育館)

【私有地防犯灯】

- 12-1 私有地の防犯灯LED化をするにあたり、土地所有者の承諾が必要とされているが、所有者を確定し印鑑を受領することは大変難しい。昨年LED化を申請した。そのときは苦勞して全て承諾をもらえたが、その際、申請書類は防犯灯ポール1本につき1枚ずつ、所有者の承諾書を添付することになっている。この場合、書類1枚で済まないか検討してほしい。
(7月2日 区役所301会議室)

【防犯カメラ設置】

- 13-1 自治会内の公園で粗大ゴミや弁当の空き箱が放置されていた。自治会で防犯カメラを設置したが、その分、自治会費が上がって困っている。

最近犯罪が多くなっていることから、地域内に防犯カメラを取り付けて欲しいという要望が出ている。防犯カメラを設置するのに行政からの補助はあるのか教えてほしい。
(7月2日 区役所301会議室)

【個人情報開示】

14-1 ここ3～4年、町内で一人住まいの方の孤独死が3件あった。この時、私達自治会の役員は一人住まいの方の緊急連絡先が分からなくて困った。この事から、自治会会長、副会長クラスまでには一人住まいの方の緊急連絡先は教えてもらいたい。自治会で秘密保持はしっかり管理できるので、開示してもらえるように、法改正を含めて行政の指導などをお願いしたい。
(7月2日 区役所301会議室)

【民生委員】

15-1 仏向地区では18名の民生委員が活動しているが、担当する地域性を考えてほしい。一つの担当地域で、谷を挟んでこちらの山と向こうの山を受け持っている。高齢化で坂の上り下りが厳しく、民生委員のなり手がいない。12月の一斉改選に当たり、民生委員の担当範囲は世帯数で決めるのではなく、町内会の地域性をも考慮していただきたい。
(6月23日 坂本小学校体育館)

【環境事業推進助成金】

16-1 環境事業推進委員会助成金について、3年続けて取り組んでおり、昨年も区民会議から市に提案して頂き、回答はいただいたが納得いかない。地区助成金の「一律部分」の公平な配分方式を提案しているが理解されていないので再度提案したい。区民会議からも再度「活動費の一律4万円を委嘱対象人数の比例配分的な提案を検討できないか」市へ再度要望してほしい。推進委員が28名の地区と、5名の地区を例にして示す。

現状の活動費は1地区一律4万円と、委員人数1名当たり2千円。

・4万円+(28名×2千円)=9.6万円→ 委員1人当たり約3千4百円

・4万円+(5名×2千円)=5万円→ 委員1人当たり約1万円

これでは一人当たりの活動費が明らかに不公平。完全な平等は望めないにしろ、納得できる公平性を再度求める。
(6月16日 イコットハウス)

【その他の問題】

17-1 民泊問題に関して、横浜市では民泊は承認されていないと思うが、実際は民泊が行われているようだ。市はそのような実態を把握しているのか、条例などの対策を考えているのかも含めて教えていただきたい。
(7月2日 区役所301会議室)

17-2 横浜市には「ふるさと納税」が少ないと聞く。もっと増えるような工夫や産物などの検討をしていただきたい。
(7月2日 区役所301会議室)